

新たに在宅医療ネット ワーク推進事業実施へ

札幌市が補正予算案

札幌市は16日、2015年度補正予算案を発表した。高齢者などの在宅療養を支援する体制づくりへ、「在宅医療ネットワーク推進事業」を新たに実施する。4月に行われた市長選後初の補正予算案で政策を反映した肉付け

予算として288億円を計上。15年度当初の骨格予算等含め、一般会計

は前年度当初比1.8%増の約9010億円。市政史上初の9000億円超と、過去最大規模となった。

在宅医療ネットワーク推進事業(補正予算額約2080万円)では、推進組織として在宅医療推進会議を設

置。医師・看護師向け研修など在宅医療従事者の人材育成、シンポジウムなど普及啓発のほか、同会議専門部会で後方支援や相談窓口の在り方も検討する。

障害者相談支援事業(同1600万円)は、相談件数増加と複雑化する相談内容に対応するため、相談員増員、専門性の高い相談員確保を進める。地域住民の

有償ボランティアが障害者を支える「地域ぬくもりサポート事業」(同約580万円)は中央・南西区のモデル実施を10月から全市に拡大する。

再開発関連の医療・福祉施設等整備は、北4東6周辺地区、北8西1地区、北3東1周辺地区(高齢者向け住宅約50戸含む)で計画している。